

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成



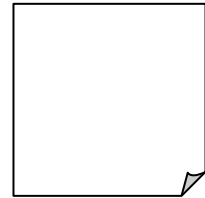
コントローラ(水色2)
1セット



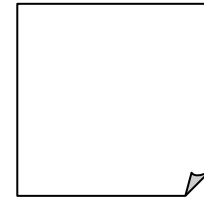
12ピンハーネス
1セット



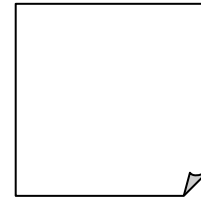
シートベルトキャンセル用ハーネス
1セット



取付説明書
1セット



取付説明書(補足)
1セット



保証書
1セット

3. 配線方法

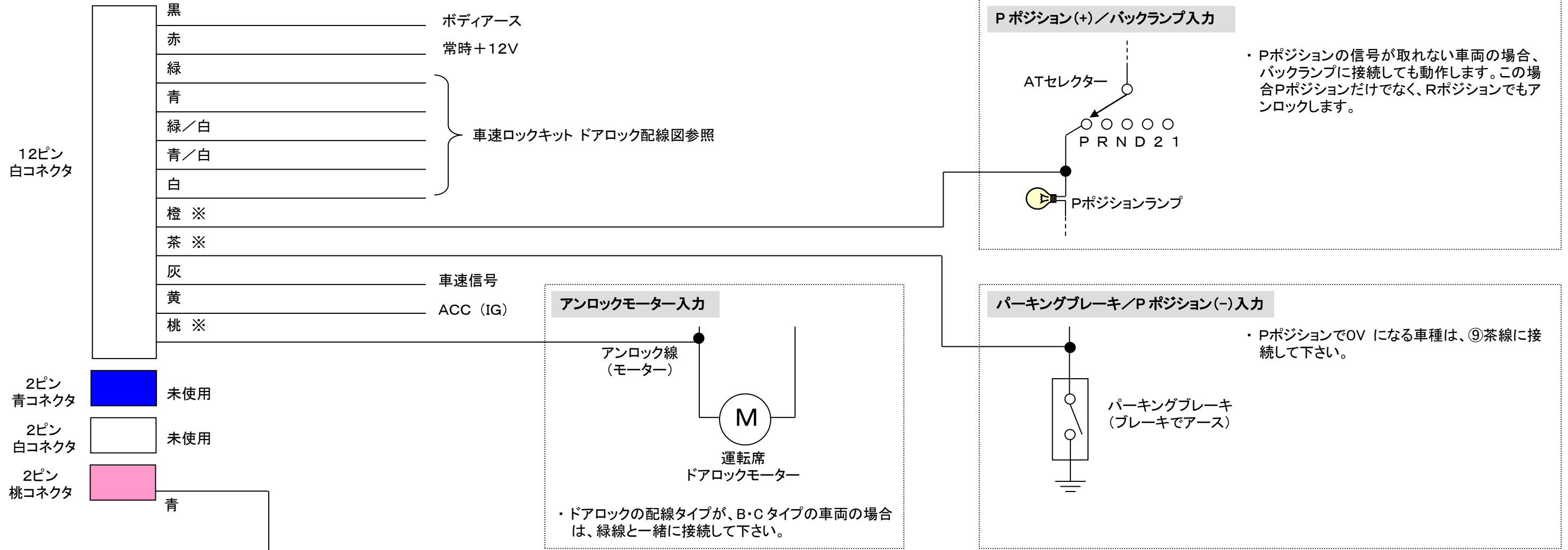
【注意】

- ・コントローラは配線が完了するまで接続しないで下さい。配線途中で接続すると故障する恐れがあります。
- ・必ず配線完了後に裏面の配線検査を行ってから、コントローラを接続して下さい。
- ・車種専用用品を購入された方は、カラーの取説を参照して配線を行って下さい。

線色	極性	説明と主な接続先
① 黒	-	ボディアースへ接続。
② 赤	+	常時電源へ接続。
③ 緑	COM	車速ロックドアロック配線図を参照して配線して下さい。
④ 青	NC	
⑤ 緑/白	COM	
⑥ 青/白	NC	
⑦ 白	NO	
⑧ 橙 ※	+	ATのPポジションランプへ接続。(Pポジションでプラス) ※ シフトをPポジションにした際にアンロックさせる場合に接続。
⑨ 茶 ※	-	パーキングブレーキ線へ接続。(ブレーキでアース) ※ パーキングブレーキをかけた際にアンロックさせる場合に接続。
⑩ 灰		車速信号へ接続。
⑪ 黄	+	ACCまたはIGへ接続。
⑫ 桃 ※	+	車両の運転席モーターのアンロック線へ接続。(プラスコントロール) ※ 運転席集中ロックスイッチでアンロック後、再度車速ロックさせる場合に接続。

基本結線図

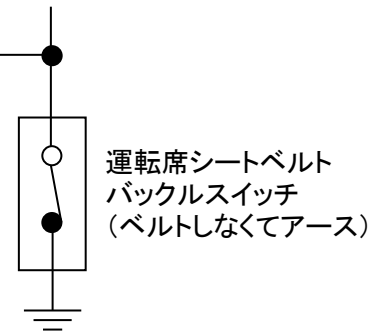
※は接続しなくても動作します。



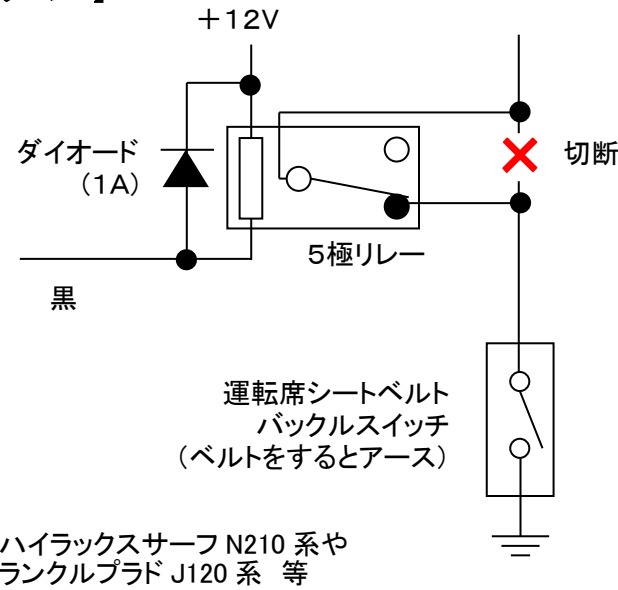
シートベルトキャンセル出力

トヨタ車でシートベルトをしていると車速ロックできない場合に接続

【パターン1】



【パターン2】



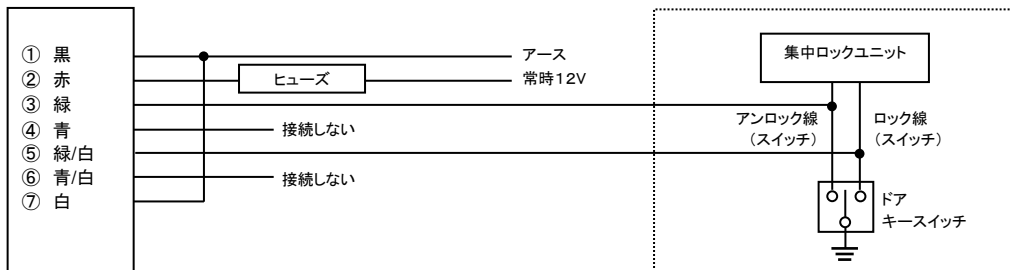
- ・トヨタ車でシートベルトをしていると車速ロックできない場合にのみ接続して下さい。
- ・シートベルトの信号は、2つのパターンがあります。車両の線をテスターで確認いただき、正しい配線を行って下さい。
- ・シートベルトをすると0Vになる車両の場合は、5極リレー(ダイオード付き)が必要です。

車種別配線情報は、次のページを参考にして下さい。
<http://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html>
 パスワードは、CMP553 (半角大文字+半角数字)

ドアロック基本結線図 (必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線して下さい。)

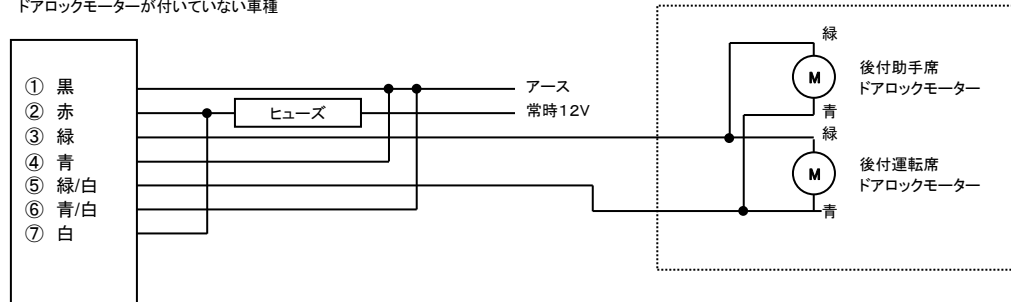
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



Bタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いていない車)

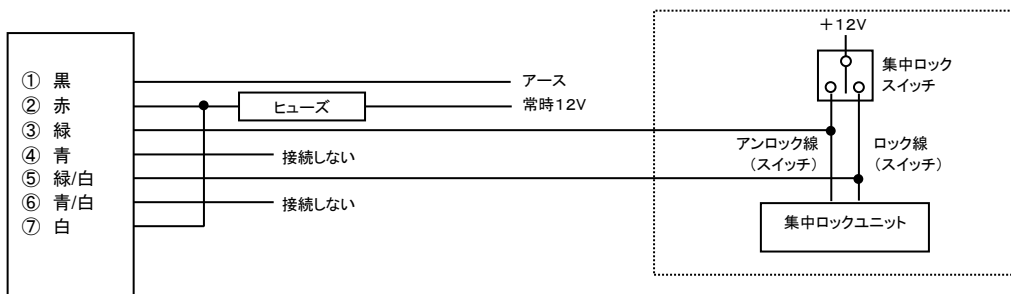
ドアロックモーターが付いていない車種



・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
 ・2個以上使用する場合は、図のように並列に接続して下さい。

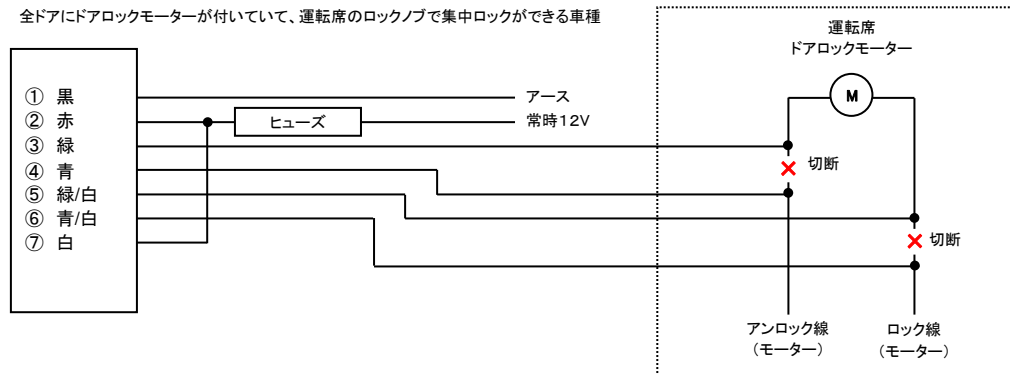
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Cタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

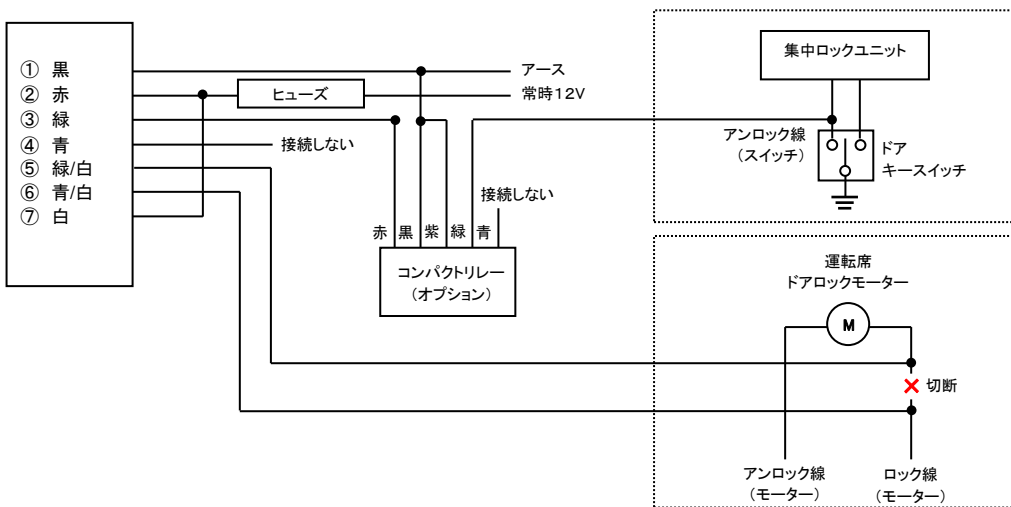
全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続して下さい。モーター側が緑、緑/白です。
 ・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
 ・社外キーレスと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線して下さい。

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ (RB1・2系オデッセイ、RG1~4系ステップワゴン等)

ロックがCタイプ、アンロックがAタイプの車種(オプションのコンパクトリレーが必要)



【当社キーレスと併設する場合】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線をキーレスの緑線へ接続。
- ③ キーレスの青線を車両側のアンロック線に接続。
- ④ ロック線も同様にカット後、モーター側のロック線に本体の緑/白線を接続。
- ⑤ 本体の青/白線をキーレスの緑/白線へ接続。
- ⑥ キーレスの青/白線を車両側のロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続して下さい。
 (オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。)

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行って下さい。
- ・必ず最後まで、飛ばさずに確認して下さい。
- ・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



危険

Aタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

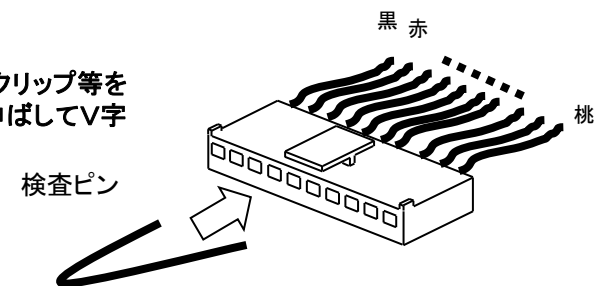
Dタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線またはコンパクトリレーの結線不良
3	緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作して下さい。



B・Cタイプ（検査ピン2本使用）

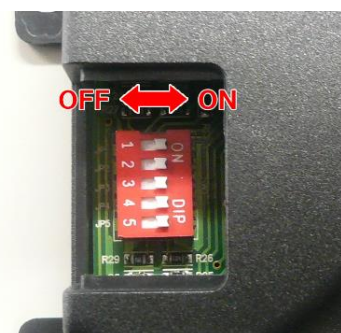
順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	青または白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と白の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	白線の結線不良

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないで下さい。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。

1. DIP スwitchの設定方法

コントローラの DIP スwitchで各種設定を変更できます。設定変更は、必ずコネクタを抜いて行って下さい。

コントローラ A
(汎用品・その他専用品)



コントローラ B
(C-HR・170系シエンタ専用品)



■ DIP スwitch1・DIP スwitch2 (ロック速度)

車種(車速パルス数)によってロック速度は変わります。まず初期設定で配線や動作の検査を行って下さい。その後、変更される場合は、徐々にロック速度を速くして下さい。

DIP スwitch設定	1: ON 2: ON	1: OFF 2: ON	1: ON 2: OFF	1: OFF 2: OFF
ロックするタイミング	早い	やや速い	やや遅い	遅い
車の速度	遅い	やや遅い	やや速い	速い
2パルス車の場合 (E26系キャラバンを除くほとんどのニッサン車)	約 12km/h	約 24km/h	約 48km/h	約 96km/h
4パルス車の場合 (ほとんどの国産車)	約 6km/h	約 12km/h	約 24km/h	約 48km/h
8パルス車の場合 (E26系キャラバン等)	約 3km/h	約 6km/h	約 12km/h	約 24km/h

■ DIP スwitch3 (シートベルトキャンセル出力時間)

シートベルトキャンセル出力が短くて正常に動作しない場合に OFF にして下さい。

DIP スwitch設定	3: ON	3: OFF
	短	長

■ DIP スwitch4 (茶線入力)

50系プリウス専用品のみ OFF に設定して出荷しています。その他の車種は ON の状態でご使用下さい。

DIP スwitch設定	4: ON	4: OFF
	その他	50系・30系プリウス Pインジケータ

■ DIP スwitch5 (未使用)

★本書の著作権は、有限会社コムエンタープライズに帰属しており、記載の一部、または全部を当社の許可なく、転用・複製・改変・掲載・頒布・販売・出版等を行うことはできません。

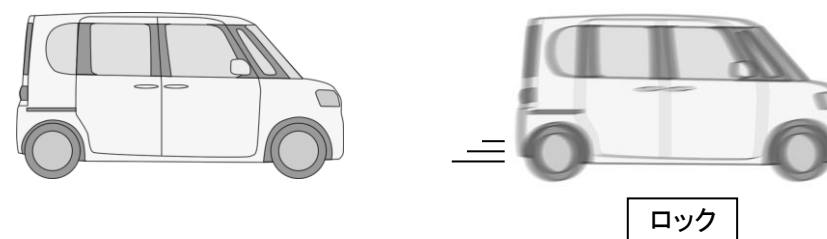
2. 機能説明

【参考】

トヨタ車の一部は、シートベルトをしていると車速ロックしません。こういった車種に取り付ける場合は、シートベルト出力線を接続して下さい。本製品はシートベルトを一時的に非装着状態にするため、ロック・アンロック時にシートベルト警告灯が一瞬点灯し、場合によっては警告音が一瞬鳴る場合がありますが、故障ではありません。また、純正ナビでテレビ表示中に本キットがアンロックした場合、一時的にテレビ表示がキャンセルされる場合があります。

車速ロック機能

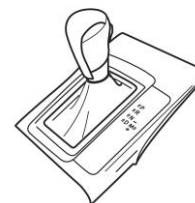
車両が走り出し、設定した車速に到達すると自動的にロックします。



自動アンロック機能

以下のいずれかのタイミングでアンロックします。

- ・ATレバーをPポジションにする。 (橙線を接続した場合に有効)
- ・パーキングブレーキを ON にする。 (茶線を接続した場合に有効)
- ・エンジンを停止する (ACCをOFFする)。



ATレバーを
Pにする



パーキングブレーキ
ON



エンジン停止
(ACCをOFF)

【注意】

Pシフトポジションやパーキングブレーキ ON 時のアンロックは、橙線や茶線を接続した場合に有効になります。車種によってアンロックするタイミングが異なります。

再車速ロック機能

運転席集中ロックスイッチでアンロックした後、車両が走り出すと再びロックします。 (桃線を接続した場合に有効)

3. 配線検査方法

■ 汎用品の場合

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	シートベルトを外して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → トヨタ車:3へ。 → その他:5へ。	ロックしない。	ロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	4へ。
3	シートベルトをして車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → 5へ。	ロックしない。	2ピン桃コネクタの黒線を接続する。
4	⑩灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。 (1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 → 5へ。	ロックしない。	正常時:⑩灰線の結線不良。 異常時:DIP スイッチの設定を確認。 (必ずロック速度を「遅い」の設定にして行って下さい。)
5	・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。 (それぞれ接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	⑧橙線(Pポジション入力) ⑨茶線(パーキングブレーキ入力)の結線不良。
6	エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。

■ 専用品の場合

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	シートベルトを外して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → トヨタ車:3へ。 → その他:5へ。	ロックしない。	ロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	4へ。
3	シートベルトをして車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → 5へ。	ロックしない。	⑦白線の結線不良。
4	⑩灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。 (1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 → 5へ。	ロックしない。	正常時:⑩灰線の結線不良。 異常時:DIP スイッチの設定を確認。 (必ずロック速度を「遅い」の設定にして行って下さい。)
5	・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。 (それぞれ接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	⑧橙線(Pポジション入力) ⑨茶線(パーキングブレーキ入力)の結線不良。
6	エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。